

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	シルバー人材センター運営費補助金	担当者	民生課	福祉係
-------	------------------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村／福祉・健康・医療の充実／高齢者福祉			
関連する主な計画等	阿智村老人福祉計画			
根拠法	高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	下伊那西部シルバー人材センター			
事業開始年	平成18年度 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	就業活動を通して高齢者の社会参加と生きがいづくりを促進するため設置されているシルバー人材センターの安定した運営を図る																					
具体的取組	下伊那西部シルバー人材センターの運営費として西部3か村で運営費を負担。 補助金額 3,348千円 (西部3か村負担額 4,500千円 内 平谷村451千円、根羽村70)千円 負担割合:均等割り15% 人口割り85%)																					
実績・効果	<p>高齢者の就労および社会参加の場として運営されている。 平成27年度、会員数・契約高とも前年を僅かに下回った。継続的な受注より個人を中心とした単発的な受注の割合が多くなっている。公共事業や企業からの継続的な受注があると経営も安定してくると思われる。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H26</td> <td>前年比(%)</td> </tr> <tr> <td>登録会員数(人)</td> <td>187</td> <td>189</td> <td>-1.06</td> </tr> <tr> <td>契約高(千円)</td> <td>43,031</td> <td>45,946</td> <td>-6.77</td> </tr> <tr> <td>就業延数(人日)</td> <td>8,608</td> <td>8,657</td> <td>-0.57</td> </tr> </table>							H27	H26	前年比(%)	登録会員数(人)	187	189	-1.06	契約高(千円)	43,031	45,946	-6.77	就業延数(人日)	8,608	8,657	-0.57
	H27	H26	前年比(%)																			
登録会員数(人)	187	189	-1.06																			
契約高(千円)	43,031	45,946	-6.77																			
就業延数(人日)	8,608	8,657	-0.57																			
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額																
	補助金	3,348																				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																
	実績額(千円)	3,340	3,350	3,348	3,350	3,350																
	うち一般財源	3,340	3,350	3,348	3,350	3,350																
	うち補助金																					
	うち個人負担																					
	従事職員(人)	正規職員																				
	臨時職員																					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	高齢者の就労や社会参加の場として必要	B
	手段、成果は妥当か	a	シルバー人材センターの維持のために必要	
	対象者の設定は妥当か	a	公共性の高い事業所である	
	村の関与は妥当か	a	安定した経営のために村の負担は必要	
有効性	期待された効果が得られたか	会員数、契約高とも前年度を下回っているが、年間就業率は上回っている。	B	
効率性	コストの削減に努めたか	a	コストを考える事業でない	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	効率を求める事業でない	
公平性	受益者負担は適切か	公益法人として利益を生み出す事業でなく、受益者負担は求めない	A	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	西部3か村で負担金を按分しているが、他村の人口が減少すると村の負担が大きくなる懸念される。
今後の取り組み	西部3か村での協議、業務の拡充のための働きかけをしていく。